

嬉野の食文化を次世代に継承しよう！

- 嬉野市では、第4次嬉野市食育推進計画（令和5年度～令和14年度）の策定に当たり実施した市民アンケート調査の結果、食文化の次世代への継承について、地域で受け継がれてきた食文化を受け継ぐことは大切であるとの認識が高くなっている一方、実際に受け継ぎ伝えている市民の割合は低くなっている。
- 嬉野市の食文化を継承していくためには、子どもから大人までが食育教室などにより郷土料理に親しむ機会を増やす必要があることから、その指導的役割を担う食育推進リーダーの育成の取組を行った。

佐賀県



嬉野市

【取組の内容】

- 食生活改善推進員養成講座
一般市民を対象に、食生活改善推進員に必要な知識を習得するための講話や調理実習を実施



（嬉野市の郷土料理を学習）



（基本的な料理を実習）

- 食生活改善推進員の研修会
食生活改善推進員を対象に、推進員の見識を深めるための講話や調理実習を実施



（郷土料理「つんきいだご汁」を紹介）（うれしの茶使用の料理を実習）



【取組の成果】

- 食生活改善推進員養成講座
初めて郷土料理を作った参加者も多く、郷土料理やそれを伝えていくことへの関心が高まった。
- 食生活改善推進員の研修会
地元特産物を使用した調理実習により、郷土料理の知識や調理方法が習得でき、日常での実践に繋がるものとなった。

【事業の目標】

①食文化の継承度

- ・事業実施前：16.4%
- ・事業実施後：70.4%

②産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合

- ・事業実施前：62.4%
- ・事業実施後：86.9%

